

### 空間演出をさらなる高みへ。現場作業も革新する 次世代型 1チップDLP® 4Kプロジェクター



[ブラックモデル]



[ホワイトモデル]

※仕様はブラックモデルと同等です。

※ 投写レンズは別売です。



PT-REQ12 シリーズ		
	PT-REQ12JL	PT-REQ10JL
光出力	12,000 lm <sup>*2</sup>	10,000 lm <sup>*2</sup>
解像度	4K (3840 x 2400) <sup>*3</sup>	

※仕様は暫定です。

#### ●演出をさらなる高みへと引き上げる新世代の映像性能

独自の2軸画素シフト技術「クワッドピクセルドライブ」により、精細で滑らかな4K解像度を実現。遅延6ms以下による240Hz<sup>\*4</sup>の高速リフレッシュレートにも対応し、動体へのプロジェクションマッピングをはじめとする次世代型演出をサポート。新開発の映像シーン解析回路が可能にするダイナミックコントラストの進化もあいまって、演出の可能性が限りなく広がります。

#### ●現場での利便性を追求する柔軟性と拡張性

演出のさらなる高度化に備え、オプション品とインターフェースを拡充。新レンズラインアップはレンズシフト範囲を拡大し、電動での周辺フォーカス調整<sup>\*5</sup>に対応。Intel® SDM 拡張スロット<sup>\*6</sup>を搭載した接続端子に加え、任意のコンテンツをソース入力せず「ユーザーテストパターン」として活用できる新機能<sup>\*7</sup>や、電源投入なしで設定にかかれる NFC 機能、アップグレードキット適用済の「幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア<sup>\*8</sup>」にも対応。複雑化するワークフローを支えます。

#### ●高信頼な新キャビネットデザインと堅牢な冗長性

当社1チップDLP®モデル初となる完全液体冷却システムと、IP5X 適合の密閉光学エンジンを融合しフィルターレスによる20,000時間<sup>\*9</sup>メンテナンスフリーを実現。さらなる安定運用を確保するため独自の冗長設計を施した「マルチレーザードライブエンジン」や、「バックアップ入力<sup>\*10</sup>」機能も搭載し失敗が許されない場面での継続投写をサポートします。

\*1 別売の DIGITAL LINK 端子ボード TY-SB01DL が必要です。\*2 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 B に基づいています。\*3 クワッドピクセルドライブ: オン時。\*4 1080p 入力時のみ。表示フレームレートは、入力信号のフレームレートに依存します。\*5 一部レンズのみ対応。\*6 Intel® SDM 仕様のファンクションボードは別売です。Intel® SDM 仕様に対応した他社製品すべての動作を保証するものではありません。\*7 本機に登録できるテストパターンは、次の条件を満たす静止画データです。解像度 3840 x 2400 ドット以下の PNG 形式または BMP 形式ファイル。PNG 形式の場合: 1/8/16/24/32/48/64 ビット (ただし、α ブレンディングは無効になり、後景画像は透過されません)。BMP 形式の場合: 1/8/24 ビット。\*8 幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア (無料版) のダウンロードが可能になります。\*9 運用モード「ノーマル」,[ダイナミックコントラスト]を [3] に設定、IEC62087:2008 ブロードキャストコンテンツ投写、温度 35°C、海拔 700 m、ほこり環境 0.15 mg/m<sup>3</sup> の条件下で、光出力が半減するまでの使用時間です。20,000 時間を目安に、内部清掃を兼ねた点検を販売店にご依頼ください。使用条件や使用環境によって光出力半減時間は異なります。使用環境によってメンテナンス時期が短くなる場合があります。使用時間が 20,000 時間を超えた場合は、本機内部の部品交換が必要となる場合があります。\*10 組み合わせは固定です。プライマリ信号 (またはセカンダリ信号) が中断された際に、自動的にセカンダリ信号 (またはプライマリ信号) に切り換わります。

## 仕様(暫定)

機種	PT-REQ12JL	PT-REQ10JL
プロジェクタータイプ	1チップDLP®プロジェクター	
DLP®チップ素子サイズ	0.8型(アスペクト比16:10)	
表示方式	DLP®チップ1枚DLP®方式	
画素数	2,304,000画素(1920x1200ドット)	
光源	レーザーダイオード	
光出力*1*2	12,000lm	10,000lm
光出力半減時間*3	20,000時間(ノーマル/静音優先)、24,000時間(ECO)	
解像度	4K(3840x2400ドット)(クワッドピクセルドライブ:オン時)	
コントラスト比*1	25,000:1(全白/全黒)[ダイナミックコントラスト:[3]時](暫定)	
投写画面サイズ	70~700型(ET-C1S600装着時)	
周辺照度比*1	90%	
レンズ	オプション(別売品)(本機にはレンズを付属していません)	
レンズシフト (レンズマウンターの原点位置)	上下 左右	±60%(ET-C1S600装着時) ±29%(ET-C1S600装着時)
台形ひずみ補正角度	垂直:±40°、水平:±40°(ET-C1S600装着時)	
投写方式	フロント天井/フロント床置き/リア天井/リア床置き、水平/垂直(360°設置フリー)	
接続端子	HDMI™入力端子1/2 HDMI™x2系統(Deep Color対応、HDCP 2.3対応、4K/60p信号入力対応) DisplayPort™端子 DisplayPort™x1系統(Deep Color対応、HDCP 2.3対応、4K/60p信号入力対応) MULTI SYNC入力端子 BNCx1系統 MULTI SYNC出力端子 BNCx1系統 シリアル入力端子 D-Sub 9P x 1系統(メス型)、外部制御用(RS-232C準拠) シリアル出力端子 D-Sub 9P x 1系統(オス型)、連結制御用(RS-232C準拠) リモート1入力端子 M3ステレオミニジャックx1系統、リモコン(ワイヤード)制御用 リモート1出力端子 M3ステレオミニジャックx1系統、リモコン(ワイヤード)制御用/本体連結制御用 リモート2入力端子 D-Sub 9P x 1系統(メス型)、外部制御用(接点制御) LAN端子 RJ-45x1系統、ネットワーク接続用(10Base-T、100Base-TX、PLink™[Class 2]、Art-Net対応) USB端子 1系統USBコネクタ(タイプA)、ワイヤレスモジュール(品番:AJ-WM50GT)接続用/USBメモリー接続用 DC出力端子 タイプA x 1系統(DC 5V、2A) 拡張スロット (空き)、Intel®SDM仕様ファンクションボード取り付け用	
対応するインターネットプロトコルバージョン	IPv4、IPv6*4	
使用電源	AC 100~240V、50Hz/60Hz	
消費電力*5	最大消費電力 オンモード 消費電力 [運用モード]	870W(8.8A)(880VA)(暫定) 725W(暫定) 565W(暫定) 555W(暫定)
キャビネット	樹脂成型品	
騒音*1	38dB(ノーマル/ECO)、35dB(静音優先)	36dB(ノーマル/ECO)、33dB(静音優先)
外形寸法(横幅x高さx奥行き)	498x212x538mm(脚最小、突起部含まず)	
質量*6	27.0kg ※別売のレンズを除く(暫定)	
環境条件	使用周囲温度:0~45°C*7、使用周囲湿度:10~80%(非結露)	
対応ソフトウェア	ロゴ転送ソフトウェア、複数台監視制御ソフトウェア、高速追従プロジェクションマッピングシステム、予兆監視ソフトウェア、幾何学歪補正・設置調整ソフトウェア、Smart Projector Control(iOS/Android版)、プロジェクターネットワーク設定ソフトウェア	
LAN経由の制御機能	Art-Net、PLink™(Class 2)、Crestron Connected V2、Crestron XiO Cloud、AMX®DD	

\*1 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2021 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。\*2 「映像モード」を「ダイナミック」、「運用モード」を「ノーマル」に設定時。\*3 運用モード「ノーマル」、「ダイナミックコントラスト」を[3]に設定、IEC62087:2008 プロードキャストコンテンツ投写、温度 35°C、海拔 700m、ほこり環境 0.15mg/m<sup>3</sup>の条件下で、光出力が半減するまでの使用時間です。使用条件や使用環境によって光出力半減時間は異なります。\*4 ワイヤレスモジュール AJ-WM50GT は IPv6 に対応していません。\*5 測定方法、測定条件については、JIS X 6911:2021 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。オンモード消費電力は環境条件、周囲温度 25°C、標高 700m の条件にて測定しています。\*6 平均値です。各製品で異なる場合があります。\*7 別売品のワイヤレスモジュール(品番:AJ-WM50GT)を取り付けている場合の使用環境温度は 0°C~40°C になります。海拔 1,400m 以上~4,200m 未満で使用する場合の使用環境温度は 0°C~40°C になります。

## アクセサリ

- **ズームレンズ**  
ET-C1U100(0.308-0.330:1)\*1/ET-C1W300(0.550-0.690)\*2/  
ET-C1W400(0.680-0.950:1)\*2/ET-C1W500(0.940-1.39:1)\*2/  
ET-C1S600(1.36-2.10:1)\*3/ET-C1T700(2.07-3.38:1)\*2  
※ レンズ自動判別機能を搭載しています。  
\*1 2023 年度 第 3 四半期 発売予定。\*2 2023 年度 第 2 四半期 発売予定。  
\*3 2023 年度 第 1 四半期 発売予定。
- **天つり金具**  
ET-PKD120H(高天井用)  
ET-PKD120S(低天井用)  
ET-PKD130H(高天井用、6 輪調整)  
※ 天つり金具(高天井用)ET-PKD120H/天つり金具(低天井用)  
ET-PKD120S/天つり金具(高天井用、6 輪調整)ET-PKD130H は、天つり金具(取付用ベース金具)ET-PKD130B と組み合わせで使用ください。
- **ファンクションボード**  
12G-SDI 端子ボード  
TY-SB01QS  
ワイヤレスプレゼンテーションシステム受信ボード  
TY-SB01WP  
DIGITAL LINK 端子ボード  
TY-SB01DL
- **天つり金具(取付用ベース金具)**  
ET-PKD130B
- **ワイヤレスモジュール**  
AJ-WM50GT  
※ 設置環境温度:0~40°C
- **デジタルリンクスイッチャー**  
ET-YFB200  
※ ET-YFB200 は 4K 信号には対応していません。
- **ワイヤレスプレゼンテーションシステム(PressIT)**  
TY-WPS1(基本セット)  
※ 詳細は以下の Web サイトをご覧ください  
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pressit/>
- **高速追従プロジェクションマッピングシステム**  
ET-SWR10  
※ 詳細は以下の Web サイトをご覧ください  
[https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_projector\\_lineup\\_swr10](https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_projector_lineup_swr10)
- **予兆監視ソフトウェア**  
ET-SWA100 シリーズ  
※ ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

## パナソニック コネクト株式会社

製品の仕様及びデザインは、改善等のため予告なく変更する場合があります。DLP®(Digital Light Processing)、DLP®チップ、DLPメタリオンロゴはテキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMIのトレードマークおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。PLink®は、日本、米国その他の国や地域における商標または出願商標です。DisplayPort™およびDisplayPort™ロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国その他の国における商標または登録商標です。Windows®は米国マイクロソフト社の登録商標です。Androidは、Google LLC の商標または登録商標です。IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Intel®およびIntel®ロゴは、アメリカ合衆国及びその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。SOLID SHINEおよびPressITはパナソニック ホールディングス株式会社の商標です。なお、各社の商標および製品商標に対しては、特に注記なき場合でもこれを十分尊重いたします。

業務用プロジェクターのホームページ  
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

パナソニックグループの事業会社制への移行にともない  
パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社は2022年4月1日より、  
「パナソニック コネクト株式会社」に変わりました。

このカタログの記載内容は、2023年2月現在のものです。

PT-REQ12JPRE1 Printed in Japan.